



柳田の里

八王子市立柳田中学校

令和7年4月18日

学校だより No.2

〔教育目標〕 ○進んで学習する人になろう ○仕事に精を出す人になろう ○心身ともに健康で思いやりのある人になろう

「志」を大切に(朝礼講話)

始業式、入学式を終え、1週間が過ぎました。新しいクラス、学年には慣れたでしょうか？まだ慣れないという人は、あわてる必要はありません。クラスにいれば、仲間との触れ合いが必ずあります。それを通して、段々と慣れていってください。

今日はイソップのある寓話を紹介します。中世のヨーロッパの町。旅人がある町を歩いていると、汗を流しながら、重たいレンガを運んでは積み、運んでは積みを繰り返している3人のレンガ職人に出会いました。そこで旅人は「何をしているのですか？」と尋ねました。すると、その3人のレンガ職人は次のように答えました。

1 人目は、「そんなこと見ればわかるだろう。親方の命令で“レンガ”を積んでいるんだよ。暑くて大変だからもういい加減こりごりだよ」と答えました。

2 人目は、「レンガを積んで“壁”を作っているんだ。この仕事は大変だけど、金（カネ）が良いからやっているのさ」と。

3 人目は、「レンガを積んで、後世に残る“大聖堂”を造っているんだ。歴史的事業に参加して町中の人を笑顔にするため、この仕事に就けてとても光栄だよ」と。

3人のレンガ職人は、それぞれ「レンガを積んでいる」という仕事は同じです。仕事の内容や役割が同じなので、賃金もほとんど変わりません。しかし、“動機”がまったく違います。もし皆さんが家を建てるとしたら、3人のうち誰に頼みたいですか？例えレンガを積むという単純な作業であったとしても、3人目の職人のように、施工主の立場や思いを理解して、心のこもった仕事をしてくれる職人に頼みたいのではないのでしょうか。



さて、3人の10年後です。

1人目は、10年前と同じように文句をいながらレンガを積んでいました。

2人目は、レンガ積よりお金の良い仕事に就きましたが、危険を伴う教会の屋根の上で仕事をしていました。

3人目は、建築現場の施工管理者として施工を任されるようになり、のちに出来上がった大聖堂には、彼の名前が付けられたということです。

学校がスタートし、皆さんは授業や行事、委員会、部活動等、様々なことに挑戦することになります。挑戦するからには、3人目のレンガ職人のように、取組に対する「思い」や「情熱」を大切にして、頑張っていきましょう。間違いなく想像以上の成果が得られることでしょう。

先生方は、皆さんのそのような取組をすでに発見しています。入学式前に新入生が気持ちよく入学できるように、細かいところまで気遣い、協力してくれた上級生の皆さん。並べたパイプ椅子も、少しのずれもなく、きれいにそろえる生徒たち。登校してきた新入生を温かく教室に誘導してくれる生徒たち。上級生としての「範」を示してくれたことに、感謝の気持ちで一杯です。また、1年生も、そんな上級生の思いを受け止めてくれたのか、とても立派な態度で入学式に臨めました。今後も皆さんの志のある活躍に期待したいと思います。

生徒の活躍

先日行われた全校朝礼で表彰を行いました。表彰された皆さん、おめでとうございます！

反省点などは、今後に生かしていきましょう！

○女子バスケットボール部

- | | | |
|-----------------------|------|-------|
| ・多摩地区中学校バスケットボール大会 | ベスト8 | 1月～3月 |
| ・立川こぶしロータリー杯立川ダイス招待大会 | 準優勝 | 1月～3月 |

○女子バレーボール部

- | | | |
|--------------------|-----|-------|
| ・八王子市中学校バレーボール春季大会 | 第3位 | 3月27日 |
|--------------------|-----|-------|